

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	おりーぶSocial			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 18日 ～ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数)	51
○従業者評価実施期間	2025年 12月18 日 ～ 2025年 12月31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性に応じた個別訓練と、集団による療育訓練を行っている。	個別言語聴覚訓練では、児童指導員が付き添い安心して訓練が受かれるようにしている。	引き続き、専門職と児童指導員が連携し、充実した支援の実施ができるように努める。
2	職員の専門性を活かした活動を行っている。特に音楽活動に力を入れており、発表会などの経験を通して学校や円の行事参加がスムーズになるなどの効果も顕著に見られ、保護者様より好評を博している。	利用者のニーズに合わせて個別または、集団で音楽療法やリトミックを実施している。	今年も、利用者の要望に応じた活動ができるようにしていく。
3	モニタリングの時期以外でも、保護者様のご相談をお受けしている。また、連絡帳や公式LINE、お電話などでも気軽に相談ができる体制をとっている。	公式LINEの導入により、営業時間外でも、ご相談が受けられるようにしている。	相談しやすい体制の維持に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望者が多く待機児がでてしまっている。	言語聴覚訓練と音楽療法のどちらも受けられる事業所が少ない。	似たような特性の事業所を探して、紹介している。
2	運動に特化した療育ができていない。	運動の専門職がいない。	PTや体育教員などの採用ができるように努める。
3	地域や定型児との交流ができていない。	感染症や事故などに対して、慎重になりすぎている。	事業所の近隣住民や、職員の子供など、小規模の交流から始めている。